

ICT活用NEWS 34

Information & Communication Technology

no. 平成28年11月29日(火) 発行
日野市教育委員会ICT活用教育推進室

産学官 次世代型学びプロジェクト「ひの@平山小」 第4回公開研究会 11月5日(土)

報告その1
公開授業



次世代型学びプロジェクト「ひの@平山小」

テーマ1: ICTを活用した「自立・協働・創造」

- ・タブレットを活用して基礎基本の習得とアクティブ・ラーニングを実現する。
- ・自立した「個」が協働で問題解決するための道具としてタブレットを活用する。

テーマ2: 学校と家庭の学びの接続

- ・将来のBYOD時代に向け、安全で便利な次世代型情報環境整備のあり方を示す。
- ・学校と家庭の学びの連続性をタブレットとクラウドを活用して実現する。

テーマ3: 学びの記録を活用した「学び・指導・評価」

- ・児童の学びの過程や成果物を次の学びや指導・評価に活用する。
- ・学習過程の可視化ツールにより、少ない負担で指導の効果を向上させる。



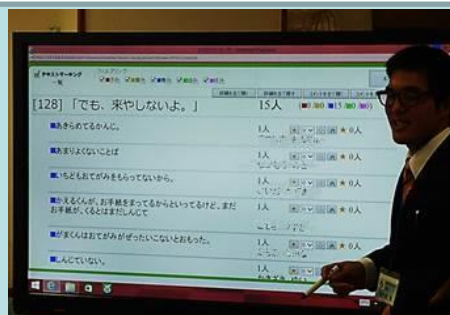
わかくさ学級
「宿泊学習

思い出アルバム」

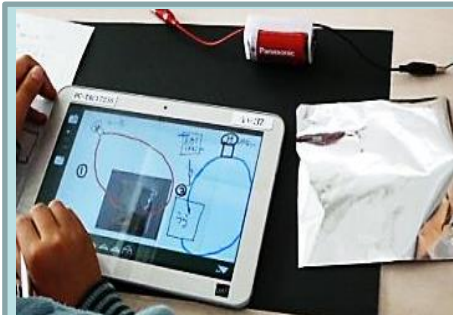
宿泊学習で撮った美術館の写真から気に入ったものを選び、各自スタディノートで思い出アルバムを作成。(テーマ3)
次に、美術館の平面図の適した場所に自分のノートを貼り付けてマップを作り、友達の作品を見て気に入ったところを発表し合いました。(テーマ1)



1年「くりさがりのあるひきざん」(算数) 各自スタディXを使って指で画面上のブロックを動かしながら14-8の計算の仕方を考えました。その後、ブロック操作の再現機能を使ってペアで計算の過程を説明し合い、さらにクラス全体で説明を共有することで理解できたことの一般化をはかりました。(テーマ1)



2年「お手紙」(国語) スタディネットのテキストマーキング機能を活用し、友達の考えとの共通点や相違点を知り、話し合いを通して友達の考え方を想像したり、自分の考えを深めたりしました。(テーマ1) そのような活動を通して「がまくん」の気持ちが変わる様子を読み取っていききました。



3年「豆電球にあかりをつけよう」(理科) 各自がスタディネットのカメラ機能で実験結果を撮影し、説明や考えを書き加えました。全員の画面をクラス全員で見ながら話し合うことで、友達の実験結果も含めて考察し、協働的に問題解決ができました。(テーマ1) 学習の過程は記録され、今後の学びや指導・評価に生かされます。(テーマ3)



4年「位取りと数のしくみ」(算数) インタラクティブスタディの活用により、目標の達成状況に応じてそれぞれの児童が単元や学年を超えて最適な補充問題や応用問題を行いました。(テーマ1) 先生は、学習記録データに基づく教師用画面の情報をもとに、各児童の状況に応じた適切な指導をするように心がけました。(テーマ3)



5年「災害に強いまち」(生きぬく科) 各自で絵地図を読み取り、その地域の災害リスクを考えて安全なまちにするための提案をTruRecorderで録音・再生。(テーマ3) さらにスタディXの操作再現機能を使いながら、どのように建物移動したかなど、グループ内で互いに考えを説明し合い、(テーマ3) グループとしての考えを広げました。



6年「この絵、私はこう見る」(国語) 教科書のルソーの絵の鑑賞文を書くために、まず絵のどの部分から何を感じ考えたかをデジタル教科書上の付箋に書きました。(テーマ1) さらに友達の付箋をカメラ機能で撮影・収集して(テーマ3) 友達の感じ方との違いなどを発表し合い、自分の鑑賞文に生かせるようにしました。